

第三次坂出市地域福祉計画の進捗状況等調査票

※は別途指標あり【資料2】

1. 地域福祉を担う人づくり	主な実施状況 (令和元年度・令和2年度)	主な担当課	評価	課題	今後の方向性	計画書 ページ	計画 番号
(1)地域での心と体の健康づくり							
○健やかに幸せに暮らせる「健幸のまち」の実現を、地域と連携・協力しながら推進します。							
	学識経験者、各種団体、関係機関等で構成する坂出市健幸のまちづくり推進協議会等において、地域や市民の意見を聞きながら、健幸のまちづくりを推進します。	けんこう課	2. 概ね順調に進んだが一部改善すべき点がある	健幸のまちづくりの推進のため、組織横断的な推進体制を構築し、諸施策を総合的に推進した。社会情勢の変動や生活様式の変更に伴い、地域や市民におけるニーズが多様化・複雑化しているため、庁内・関係団体との連携をより一層深化させていく必要がある。	(充実 (継続) ・変更・休止・廃止) 子どもから高齢者まで全てのかたが安心して暮らし続けられるよう、全庁的な体制づくりや関係機関と連携し、総合的な事業展開を継続的に行う。	P22	1
※	地域と連携して新たなラジオ体操広場を開設し、市民の健康増進と地域コミュニティの活性化に努めます。	生涯学習課	3.実施したが不十分な点が多い	地域と連携して新たなラジオ体操広場を開設し、市民の健康増進と地域コミュニティの活性化に努める。	(充実 (継続) ・変更・休止・廃止)	〃	2
○イベントや講座を通じて、市民の健康維持に努めます。							
※	「健幸まつり&介護の日」のイベントについて、参加体験型を基本とした各コーナーを開設し、健康と介護に関する周知・啓発に努めます。	けんこう課	2.概ね順調に進んだが一部改善すべき点がある	参加者の年齢層は、65歳以上のかたが8割近く占めており、若い世代への働きかけが必要である。	(充実 (継続) ・変更・休止・廃止) 若い世代への周知に努める。	〃	3
		かいご課	2.概ね順調に進んだが一部改善すべき点がある	新型コロナウイルス感染拡大の影響で、イベント開催ができていない。	(充実 (継続) ・変更・休止・廃止) 感染拡大状況を注視しながら、予防策を講じ、普及啓発に努めていく。	〃	3
※	老人クラブや地域における仲間づくり・居場所づくり活動等の既存の活動を活用した介護予防の取組強化に努めます。	かいご課	2.概ね順調に進んだが一部改善すべき点がある	新型コロナウイルス感染拡大の影響で、住民活動が実施できなかったことがある。	(充実 (継続) ・変更・休止・廃止) 感染予防策を講じながら、引き続き既存の活動を通じた介護予防等の取組み強化に努めていく。	〃	4

第三次坂出市地域福祉計画の進捗状況等調査票

※は別途指標あり【資料2】

1. 地域福祉を担う人づくり	主な実施状況 (令和元年度・令和2年度)	主な担当課	評価	課題	今後の方向性	計画書 ページ	計画 番号	
○地域での交流や社会参加の促進のため、自治会、婦人会、老人クラブ、地区社会福祉協議会等の加入促進に努めます。								
※	各団体と連携を図り、広報誌、市ホームページでの情報提供や転入時にパンフレットを配布するなど、各団体の加入促進に努めます。	実績なし。	ふくし課	4.事業の内容や実施方法など見直しが必要	会員の高齢化、加入者の減少。	P22	5	
		自治会加入のメリットや加入の仕方を記載したパンフレットを転入手続き時に配布することで、加入を促した。	共働課	3.実施したが不十分な点が多い	自治会加入促進事業補助金について、令和元・2年で1団体からの申請のみであり、補助制度が生かされていない。また、感染症拡大防止の観点から、自治会行事等地域の交流が図れる機会がなくなったり縮小せざるを得ないこともあり、周知方法等が制限された。			(充実) (継続) (変更) (休止) (廃止) 自治会の加入や活動についてのチラシやHPを見直し、更なる啓発を行う。周知の仕方についても検討していく必要がある。
		防災活動や見守り活動を通して、婦人会活動の必要性を広報することに協力した。	生涯学習課	2.概ね順調に進んだが一部改善すべき点がある	若い人が少ないので、加入促進に努めていく。			(充実) (継続) (変更) (休止) (廃止)
(2) 地域での居場所づくり								
○地域住民が主体となっていく地域福祉を支える活動拠点づくりや交流、支え合い活動に関する助成制度等の情報提供を行います。								
地区社会福祉協議会における地域活動が活発となるよう、様々な機会をとらえて、市社会福祉協議会と連携し、関係団体へ最新の情報提供を行います。	地区社会福祉協議会の仲間づくり・居場所づくり活動に対して市社協と連携して支援しているが、情報提供についての実績はない。	ふくし課	3.実施したが不十分な点が多い		(充実) (継続) (変更) (休止) (廃止)	P24	6	
	必要でありそうな情報は提供できるが、特に実績はない。	市社会福祉協議会	3.実施したが不十分な点が多い		(充実) (継続) (変更) (休止) (廃止)			
○地区社会福祉協議会、市社会福祉協議会、自治会、婦人会、老人クラブ、子ども会等と連携し、住民同士が身近な地域で地域の実情に合った話し合いや交流の場がもてるように支援します。								
※	地区社会福祉協議会、市社会福祉協議会、自治会、婦人会、老人クラブ、子ども会等と連携し、その地域の実情に合った話し合いや交流の場がもてるように支援します。	地区社会福祉協議会を通じて住民同士の交流の場づくりや世代交流活動が主体的に実施できるよう支援した。ただし、新型コロナウイルス感染拡大の影響で実施が減少した。	ふくし課	3.実施したが不十分な点が多い	新型コロナウイルス感染症による活動の減少。	(充実) (継続) (変更) (休止) (廃止) 今後も新型コロナウイルス感染症の拡大が懸念されることから、実施の方法を変更するなどして各地区で活動が継続されるよう支援する。	"	7
	地区社会福祉協議会が実施する小地域座談会やボランティア養成講座等を通して、住民が地域の課題を自身の課題として取り組めるよう働きかけを行うとともに、地域活動の担い手づくりを支援します。	講座や会合等の機会を捉えて、身近な生活課題や地域課題(現状および将来的な)への気づきを促し、解決に向けた住民の主体的な取り組みにつながるよう努めている。直接的な担い手づくりには至らなくても、福祉的な意識を持った住民の裾野を広げることを意識している。	市社会福祉協議会	3.実施したが不十分な点が多い	現在の地域活動の担い手が高齢化する中、今後の活動の担い手づくりは慢性的な課題となっている。地区の会合等で現役世代と接する機会は少なく、自治会の輪番制で一時的に活動に関わることはあっても、継続した活動につながらない。	(充実) (継続) (変更) (休止) (廃止)	"	8

第三次坂出市地域福祉計画の進捗状況等調査票

※は別途指標あり【資料2】

1. 地域福祉を担う人づくり	主な実施状況 (令和元年度・令和2年度)	主な担当課	評価	課題	今後の方向性	計画書 ページ	計画 番号
(3) 互いを思いやる心づくり							
○乳幼児期における家庭での福祉教育の大切さをあらゆる機会を通して広報・啓発します。							
人権保育に関する研究会や研修会に参加し、保育の質の向上に努めています。日々の保育の中で、子どもたちがお互いを思いやる心を持てるよう、子どもたちの人権意識の醸成に努めます。	令和元年度は人権保育に関する研究会・研修会は実施できたが、令和2年度は、コロナ禍になり、研修規模が縮小したり、中止になった。日々の保育の中で、子どもたちがお互いを思いやる心がもてるよう、子どもたちの人権意識の醸成に努めている。	こども課	2.概ね順調に進んだが一部改善すべき点がある	新型コロナ感染症予防の観点から、研修会等のあり方を柔軟に対応・変更していく必要がある。	(充実 継続 ・変更・休止・廃止)	P26	9
○日常的な関わりの中で高齢者や障がいのある人への思いやりの心を育むため、保育所や幼稚園における障がいのある子どもの受け入れや高齢者との交流活動を推進します。							
園児が地域の自然環境や高齢者等の人材に積極的に触れられるように計画的に保育を実施していくとともに、障がいのある友達と一緒に育つ中で優しい心や互いに認め合うという人権感覚、感性を育てられるよう、保育の充実を図ります。	園児が地域の自然環境や高齢者等の人材に積極的に触れられるように保育内容等の評価を行い、計画的に保育を実施した。障がいのある友達と一緒に育つ中で優しい心や互いに認め合うという人権感覚、感性を育てられるよう、保育の充実を図っている。	こども課	2.概ね順調に進んだが一部改善すべき点がある	新型コロナ感染症予防の観点から、高齢者等の触れ合いを柔軟に対応・変更していく必要がある。	(充実 継続 ・変更・休止・廃止)	P27	10
保育所において、障がい児の受け入れや高齢者福祉施設の訪問を行い、園児の思いやりの心が育まれるように努めていきます。	保育所等において、障がい児の受け入れを公立・私立ともに行っている。子どもに対する多様性が認められ、他者とともに育ちあう環境づくりに努めている。高齢者福祉施設の訪問は、コロナ禍になり実施できなかった。	こども課	2.概ね順調に進んだが一部改善すべき点がある	新型コロナ感染症予防の観点から、高齢者福祉施設訪問等のあり方を柔軟に対応・変更していく必要がある。	(充実 継続 ・変更・休止・廃止)	〃	11
○学校における「総合的な学習の時間」を活用し、社会福祉体験活動や障がいのある人との交流教育を充実します。							
小学校で総合的な学習の時間を利用して、高齢者や障がいのある人との交流活動など福祉に関する体験的な活動を実施するとともに、ボランティア活動への参加を広げていくとともに、学校行事に招待するなど、交流する機会の充実を図ります。	社会福祉体験等の交流活動を年間教育計画に位置付け、実施の予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため、老人施設等への訪問の禁止等のため、直接的な体験活動の実施はできなかった。DVD視聴などによる間接体験の実施にとどまっている。	学校教育課	3.実施したが不十分な点が多い	新型コロナウイルス感染症の収束のめどが立つまでは、直接体験的な活動は自粛せざるを得ない。	(充実 継続 ・変更・休止・廃止) ICT機器の活用により、できる限り障がいのある人との交流や福祉に関する学習を進めていくようにする。	〃	12
※ 小学校で命の大切さをテーマとした、「いのちの教育」等の出前講座を実施します。	依頼があった小学校へ命の大切さをテーマとした「いのちの教育」等の出前講座を実施した。 令和元年度:1回(林田小学校2年生) 令和2年度:1回(林田小学校2年生)	けんこう課	1.順調に進んだ(完了)		(充実 継続 ・変更・休止・廃止) 講義内容を学校側と協議しながら今後も継続していく。	〃	13

第三次坂出市地域福祉計画の進捗状況等調査票

※は別途指標あり【資料2】

2. 地域で支え合う仕組みづくり		主な実施状況 (令和元年度・令和2年度)	主な担当課	評価	課題	今後の方向性	計画書 ページ	計画 番号
(1) 支え合い・見守り活動の推進								
○地区社会福祉協議会、自治会、婦人会、民生児童委員等と連携をし、ひとり暮らし高齢者等の安否確認に努めます。								
※	市内の地域福祉関係団体と連携し、見守り活動等の充実を図るとともに、地域活動に参加していない人や、現在の見守り活動の対象とならない人への対応について検討していきます。	地区社協に対し、小地域福祉ネットワーク事業の補助を行い、地区社会福祉協議会、自治会、民生委員、婦人会等関係団体が連携して見守り活動を行っている。また、市内の新聞販売店・郵便局等見守り活動協力事業者、市民生児童委員協議会連合会、市で三者契約を締結し、一人暮らし高齢者等を訪問した際に異変を感じた場合は市地域包括支援センターに連絡をする体制とし、市職員、民生委員等が状況を確認し、必要な支援を行うこととしている。さらに、令和2年度より、あんしん通報サービスにより、希望する高齢者世帯(市民税非課税世帯)に対し、本人が契約した民間の緊急通報サービスへの補助を開始した。	ふくし課	1.順調に進んだ(完了)	小地域福祉ネットワークの対象者について、実施主体である地区社協が決定するため、地区によっては自治会加入(地区社協加入)を条件としているところもある。	(充実・ <u>継続</u> ・変更・休止・廃止) 今後も小地域福祉の推進について、市社協と連携して啓発していく。	P30	14
		見守り活動のキーパーソンとなる人は、地区により違いはあるが、概ね関係者の連携により見守りが行われていると思う。関係団体は主に会員を対象としているため、それ以外については民生児童委員に頼らざるを得ないのが現状となっている。	市社会福祉協議会	2.概ね順調に進んだが一部改善すべき点がある	民生児童委員の守秘義務に対する他団体等の理解に差があり、連携の障がいになる場面も見られる。見守り対象者≒自治会員であることが多く、現状の改善や他の連携先・連携方法の検討も必要。	(充実・ <u>継続</u> ・変更・休止・廃止)		
※	民生児童委員による高齢者実態把握調査における見守り活動や安否確認に対し情報提供を行うとともに、関係団体、市関係部局とさらなる連携を図り、地区社会福祉協議会における小地域ネットワーク活動の見守り活動を支援していきます。	高齢者の支援にあたっては、高齢者実態調査や小地域ネットワーク活動の見守り活動の情報を関係機関に提供するなど連携している。また地区社協に対し、小地域福祉ネットワーク事業の補助を行っており、施設入所や死亡など対象者の減少もあるなか、対象者が増加した。	ふくし課	1.順調に進んだ(完了)		(充実・ <u>継続</u> ・変更・休止・廃止) 今後も小地域福祉ネットワーク活動を支援していく。	"	15
		見守り協定協力事業所からの情報提供があった場合に、民生委員や関係機関と連絡を取り合い安否確認を実施した。	かいご課	1.順調に進んだ(完了)		(充実・ <u>継続</u> ・変更・休止・廃止) 安否確認のより効果的な方法の検討を行っていく。		
※	今後さらに増加することが予測されるひとり暮らし高齢者や認知症高齢者等に対応するため、見守り支援員の増員を含め見守り体制の充実に努めます。	主に80歳以上の一人暮らし高齢者世帯や、見守り支援が必要な高齢者世帯等を定期的に訪問し、安否確認や話し相手となる見守り支援事業を実施している。	かいご課	2.概ね順調に進んだが一部改善すべき点がある	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、訪問が実施できなかった時期があった。	(充実・ <u>継続</u> ・変更・休止・廃止) 訪問実施できない場合に電話連絡等で対応したが、そうした場合での見守り支援体制の強化に努めていく。	P31	16

第三次坂出市地域福祉計画の進捗状況等調査票

※は別途指標あり【資料2】

2. 地域で支え合う仕組みづくり		主な実施状況 (令和元年度・令和2年度)	主な担当課	評価	課題	今後の方向性	計画書 ページ	計画 番号
○地域福祉に関する啓発資料や講座、セミナー、イベント等を活用し、多くの機会や場において、地域福祉に対する意識の啓発に努めます。								
	市社会福祉協議会や各地区社会福祉協議会等の関係団体が主催する行事や研修会等の機会を通じて、多くの市民が主体的に地域の課題解決に取り組んでいけるよう、地域福祉に対する意識の啓発に努めます。	令和元年度から開始された第3次地域福祉計画について、研修等を通じて地区社会福祉協議会や民生委員に周知し、地域福祉推進に向けた住民・関係機関や各種団体・市社協・行政等が取り組むべき事項を示した。	ふくし課	4.事業の内容や実施方法など見直しが必要	新型コロナウイルスの感染症の流行状況によっては行事や研修会の減少が危惧される。	(充実・ 継続 ・変更・休止・廃止)	P31	17
	令和2年度から第5期の地域福祉活動計画がスタートしたことから、地区社協・民生委員・老人クラブなどに周知した。地域のつながりの強化や、相談窓口につながる体制づくりなど、地域福祉活動の充実や意識の醸成を進めている。	市社会福祉協議会	2.概ね順調に進んだが一部改善すべき点がある	可能な範囲で研修は実施しているが、コロナ禍で機会は減少している。	(充実・ 継続 ・変更・休止・廃止)			
○市民と協力し、支援が必要な人を見守るシステムづくりを支援します。								
※	地区社会福祉協議会および民生児童委員等と連携し、支援が必要な人を見守る活動を支援していくとともに、福祉推進委員への研修会等を行い、見守りの裾野を広げることで、地域共生社会の実現につなげていきます。	地区社会福祉協議会の小地域福祉ネットワーク活動や、市内の見守り活動協力事業者、市民生児童委員協議会連合会、市で三者契約を締結した見守り協定等、地区社協や民生委員と連携して実施している。	ふくし課	1.順調に進んだ(完了した)		(充実・ 継続 ・変更・休止・廃止)	"	18
		それぞれの地区で実情に応じた見守りの体制を構築している。支援が必要な人が、適切な相談窓口につながる体制づくりをめざしているが、コロナ禍で福祉推進委員の研修等の機会は減少している。	市社会福祉協議会	3.実施したが不十分な点が多い	異変を発見した時の対応等についても併せて周知する必要がある。また、相談窓口に関する情報提供も必要である。	(充実・ 継続 ・変更・休止・廃止)		
※	行方不明認知症高齢者への対策を行い、高齢者ができる限り住み慣れた地域でいきいきと暮らすことができるよう支援体制の構築を図ります。	坂出市まいまいこ(はいかい)高齢者おかえり支援事業を通じて、行方不明者の早期発見に取り組んでいる。	かいご課	2.概ね順調に進んだが一部改善すべき点がある	おかえり支援サポーターおよびおかえり支援事業者の登録が伸び悩んでいる。	(充実・ 継続 ・変更・休止・廃止) 認知症サポーター養成講座開催時など、各種機会を捉えて周知啓発に努めていく。	"	19
	ひとり暮らし高齢者や高齢夫婦世帯、認知症高齢者の増加が予測されることから、様々な問題を抱える高齢者を地域で支えるためのネットワークの構築に努めます。	民生委員、自治会など地域住民からの情報提供に対し、職員が訪問し、必要な支援や関係機関につなぐ取り組みを実施している。	かいご課	1.順調に進んだ(完了した)		(充実・ 継続 ・変更・休止・廃止)	"	20
※	民生児童委員の協力により、オレンジリボンキャンペーンを実施し、児童虐待防止を呼び掛けるとともに、坂出市要保護児童対策地域協議会を構成する関係団体を対象に、児童虐待防止のための研修会を実施します。	令和元年度は民生児童委員の協力により、オレンジリボンキャンペーンを実施し、児童虐待防止を呼び掛けるとともに、令和2年度については、感染症拡大防止の観点から、小・中学校に啓発グッズを配る方法へ変更し啓発活動を行った。	こども課	1.順調に進んだ(完了した)	新型コロナウイルス感染症予防の観点から、柔軟に啓発の方法も変更していく必要がある。	(充実・ 継続 ・変更・休止・廃止) 状況の変化に対応し、従来のやり方にとらわれない方法で継続していく必要がある。	"	21

第三次坂出市地域福祉計画の進捗状況等調査票

※は別途指標あり【資料2】

2. 地域で支え合う仕組みづくり		主な実施状況 (令和元年度・令和2年度)	主な担当課	評価	課題	今後の方向性	計画書 ページ	計画 番号
(2) 地域福祉活動の推進								
○市社会福祉協議会と連携し、ボランティア情報の提供やボランティア間の交流等を支援します。								
※	市社会福祉協議会が運営するボランティアセンターの周知を進めるとともに、ボランティア活動の啓発、ボランティアの養成、ボランティア間の交流等を支援します。	ボランティアセンター職員(1名)の人件費等を補助し、ボランティアセンターの運営を支援した。	ふくし課	2.概ね順調に進んだが一部改善すべき点がある	ボランティアセンターの周知方法については、市社協と連携して模索する必要がある。	(充実・ <u>継続</u> ・変更・休止・廃止) 今後も市社協と連携し、効果的な支援を行っていく。	P35	22
○地域福祉を担う中心的な組織である市社会福祉協議会、地区社会福祉協議会との連携を深め、地域ぐるみの支え合い活動や助け合い活動の活性化等を図ります。								
	市社会福祉協議会や地区社会福祉協議会と連携を深め、共同募金等の活動への支援を通し、さらなる地域ぐるみの支え合い活動や助け合い活動の活性化等を図っていきます。	毎年、共同募金の活動月間である10月に庁舎内に募金箱を設置し活動を支援した。	ふくし課	1.順調に進んだ(完了した)		(充実・ <u>継続</u> ・変更・休止・廃止) 今後も、市社協や地区社協と連携を深め、活動を支援していく。	〃	23
○市社会福祉協議会が策定している地域福祉活動計画との整合性を図り、地域福祉を推進します。								
	市社会福祉協議会が主となり策定している地域福祉活動計画との整合性を図り、地域福祉を推進します。	市社協と連携し、地域福祉の推進に努めた。令和2年度から実施している地域福祉活動計画について、地域福祉計画との整合性を図りながら策定された。	ふくし課	1.順調に進んだ(完了した)		(充実・ <u>継続</u> ・変更・休止・廃止) 次の地域福祉計画と地域福祉活動計画の開始時期を令和7年度に合わせたことにより共同して策定にあたり、地域福祉の推進に向けて連携して取り組んでいく。	〃	24
(3) 地域のネットワークづくり								
○多様な組織や団体による連携を支援することで、地域のネットワークづくりを進めます。								
	市社会福祉協議会とともに、各地区社会福祉協議会が関係団体と連携して、地域で行っている活動を支援し、各地区の情報交換を行える機会を支援します。	地区社協が実施している小地域福祉活動推進研修会等、各地区の情報交換を行う活動に対して補助することで支援した。	ふくし課	1.順調に進んだ(完了した)		(充実・ <u>継続</u> ・変更・休止・廃止)	P37	25
※	地域ぐるみで家庭の子育てや、地域の子ども同士、親同士、さらには高齢者を含む様々な年代との交流を支援します。	坂出市愛育会と連携を図りながら、声掛け訪問やわくわくサークル、ベビーマッサージ等を委託・実施することで地域の子育て家族同士や高齢者との交流を促した。 ・声掛け訪問: 令和元年度15,159件, 令和2年度12,973件 ・ベビーマッサージ: 令和元年度4回, 令和2年度5回 ・わくわくサークル: 令和元年度11回, 令和2年度9回	けんこう課	2.概ね順調に進んだが一部改善すべき点がある	令和2年度以降は新型コロナウイルスの感染拡大に伴い行事をやむを得ず中止したものも多かった。また働く母親の増加、SNSを中心とした情報収集等、住民の変化に合わせたイベントの企画・情報の発信、交流方法等を検討する必要がある。	(充実・ <u>継続</u> ・変更・休止・廃止) 今後も継続して坂出市愛育会と連携を図り、地域の実情に応じた方法で地域の子育て家庭(子・親同士)や異世代間同士の交流を促す。	〃	26
		令和元年度は様々な年代との交流が図れたが、令和2年度はコロナ禍になり様々な行事が縮小・中止となる中で、家庭での子育てを中心に連携が図れるように支援している。	こども課	2.概ね順調に進んだが一部改善すべき点がある	新型コロナ感染症予防の観点から、交流の方法を柔軟に対応・変更していく必要がある。	(充実・ <u>継続</u> ・変更・休止・廃止)		

第三次坂出市地域福祉計画の進捗状況等調査票

※は別途指標あり【資料2】

2. 地域で支え合う仕組みづくり		主な実施状況 (令和元年度・令和2年度)	主な担当課	評価	課題	今後の方向性	計画書 ページ	計画 番号
○学校教育や生涯学習等を通して声かけやあいさつ、近所づきあい、見守り等を大切にしてい地域づくりを支援します。								
※	「地域学校協働活動」の推進に向け、地域住民と学校との連携・共働をより一層強めていくことが求められていることから、情報提供等の支援の充実を図ります。	地域学校協働活動の一環として、地域支援ボランティアの一員として活動に参加していただいている方も多くいる。 また、地域の敬老会への参加など、学校教育における福祉教育に関する活動の場を通して、交流を図っている。	学校教育課	4.事業の内容や実施方法など見直しが必要	学校の教育活動内容において、「〇〇教育」という名のもと、多くの活動の要請を受け、多岐にわたっている。必要性は認めるが、精選する必要がある。	(充実・ <u>継続</u> ・変更・休止・廃止) 活動内容の精選を図り、学校と地域住民との役割分担を明確にして活動を継続推進していく。	P38	27
○地域包括ケアシステムの深化・推進に向け、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活することができるよう、地域資源を活かした生活支援サービスの提供体制を整備します。								
※	地域の実情に応じた支え合い・助け合いの体制整備を充実させるために、各団体との連携を強化し、市全体、各地区での先進的な取組の情報共有、課題共有に努めていきます。	第1層協議体「坂出ささえまるネットワーク」に引き続き、各地区第2層協議体の設置の推進に取り組んでいる。 各地区の協議体で、地域課題の把握や活動の検討が図られていたが、コロナ禍で協議の場が減ったことで、全体として停滞している印象はある。その中でも、関係者の連携を深める取り組みは一部で行われている。	かいご課 市社会福祉協議会	1.順調に進んだ(完了した) 3.実施したが不十分な点が多い	 地区(地域)の主体的な取り組みを重視していることから、地区間で進捗状況に格差が生じている面は見られる。地域性や社会資源に差があることから、地区の状況に応じた働きかけが必要である。	(充実・ <u>継続</u> ・変更・休止・廃止) 引き続き市内の取り組み状況の共有と、啓発のための講演会等の開催を行っていく。 (充実・ <u>継続</u> ・変更・休止・廃止)	"	28
3. 地域生活を支えるまちづくり		主な実施状況 (令和元年度・令和2年度)	主な担当課	評価	課題	今後の方向性	計画書 ページ	計画 番号
(1)相談・支援体制の強化								
○住み慣れた地域で、住民が自立した生活を送ることができるよう、また、困ったときにすぐ相談ができるよう、関係機関等と連携し総合的な相談体制づくりを推進します。								
※	複雑多岐にわたる相談内容に対応するため、全庁的な体制づくりを構築していくとともに、関係団体との連携を図り、相談体制等の充実を図ります。	複合的な課題を持つ世帯からの相談に対しては、関係課および関係機関との連携を図りながら対応を行っている。 複合的な課題を持つ世帯からの相談に対しては、関係課および関係機関との連携を図りながら対応を行っている。	ふくし課 かいご課	1.順調に進んだ(完了した) 1.順調に進んだ(完了した)	 困っていても自分からSOSを出せない人もいるため、今後も地区組織(自治会・民生委員等)や他課と連携し相談先に繋ぐ取り組みが重要である。また、時代の変化に合わせ、相談方法にオンライン等を取り入れるなど、相談者が気軽に相談できる体制の構築を今後も検討する必要がある。	(<u>充実</u> ・継続・変更・休止・廃止) 重層的支援体制整備事業を整備していくなかで、庁内および庁外関係機関等と連携した相談体制を強化する。 (充実・ <u>継続</u> ・変更・休止・廃止) 現在の連携状況から、さらに範囲を拡大していき、各種支援に円滑につないでいく。	P41	29
	ライフステージにより様々な困りごとをひとりで抱えている人が潜在していることから、周知を徹底し、関係機関と連携・情報共有を行うことで、訪問等で相談対応ができるよう体制構築を図ります。	市民に対し、窓口やHP、広報等を活用し困りごとの相談先や相談事業の周知を行った。支援の際には、必要に応じて関係機関と情報の共有・密な連携を図り支援の方向性・支援方法を検討した。また精神科医のコンサルテーション(1回/年)を利用することで職員のスキルアップを図った。	けんこう課	2.概ね順調に進んだが一部改善すべき点がある	困っていても自分からSOSを出せない人もいるため、今後も地区組織(自治会・民生委員等)や他課と連携し相談先に繋ぐ取り組みが重要である。また、時代の変化に合わせ、相談方法にオンライン等を取り入れるなど、相談者が気軽に相談できる体制の構築を今後も検討する必要がある。	(充実・ <u>継続</u> ・変更・休止・廃止) 今後も市民に対し相談先や相談事業の分かりやすい周知を徹底すると共に、相談方法の選択肢を増やしたり、庁内および関係機関と密な連携・情報共有・対応職員のスキルアップを行うことで適切な相談対応ができるような体制構築を図る。	"	30
※	一次的な相談窓口としての「福祉総合相談センター」を設置し、必要に応じて弁護士・社会保険労務士・土地家屋調査士等の専門機関や、行政・関係機関等へつないでいくとともに、広く住民が利用できる相談窓口として、広報啓発に努めます。	平日9:30～15:00まで一般相談員が対応。新型コロナウイルス感染症予防の影響で令和2年度からは、一時休止していたが、その後12時までの短縮対応としている。 専門職相談も、市民の安心な生活のために利用が多い。	市社会福祉協議会	2.概ね順調に進んだが一部改善すべき点がある	年間約300件程度の相談があるが、時間短縮の影響からか、相談件数は減少傾向にある。 しかしながら、件数に関わらず対面で時間をかけて丁寧な相談対応を心がけている。	(充実・ <u>継続</u> ・変更・休止・廃止) 引き続き、住民が、困りごとの相談を気軽にできる窓口として利用しやすいように周知啓発に努める。	"	31

第三次坂出市地域福祉計画の進捗状況等調査票

※は別途指標あり【資料2】

3. 地域生活を支えるまちづくり		主な実施状況 (令和元年度・令和2年度)	主な担当課	評価	課題	今後の方向性	計画書 ページ	計画 番号
○地域の最も身近な相談役である民生児童委員との連携を強化し、相談技術の向上や活動へ助言等を行います。								
※	関係機関とともに各種研修会を開催するなど、様々なケースについて情報提供を行い、民生児童委員活動が円滑に行われるように支援するとともに、地域での理解や協力を得られるよう啓発を行います。	市社協と連携し、各種研修会を開催したり、啓発を行った。ただし、新型コロナウイルス感染拡大のため、研修会が中止になるなどの影響があった。	ふくし課	2.概ね順調に進んだが一部改善すべき点がある	新型コロナウイルス感染予防の観点から研修会開催の方法等検討が必要となる。	(充実・ <u>継続</u> ・変更・休止・廃止) 今後も市社協と連携し、研修会等の実施や、地域での理解や協力が得られるように啓発を行う。	P41	32
		民児連の事務局として、民生委員活動を支援している。コロナ禍で県外研修は実施できていないが、通常の研修はほぼ行っている。	市社会福祉協議会	2.概ね順調に進んだが一部改善すべき点がある	令和元年12月に一斉改選があったが、コロナ禍で民生委員活動が制限されたことから、委員としての経験する機会が少なくなっている。	(充実・ <u>継続</u> ・変更・休止・廃止)		
	より充実した活動や協力体制が得られるように、普段から民生児童委員や坂出市要保護児童対策地域協議会と連携強化を図ります。	新型コロナ感染症の拡大により、社会の在り方が目まぐるしく変化する中で協力体制が得られるように、普段から民生児童委員や坂出市要保護児童対策地域協議会と連携強化を図っている。	こども課	2.概ね順調に進んだが一部改善すべき点がある	守秘義務の観点から坂出市要保護児童対策地域協議会に参加している民生委員の方とは、情報を共有できるが、それ以外の民生委員の方に児童の状況を伝えられないことがあり、継続的な見守りの依頼方法を検討する必要がある。	(充実・ <u>継続</u> ・変更・休止・廃止) 法令の解釈、児童の継続的な支援等の状況を踏まえつつ、情報共有の在り方を検討していく必要がある。	〃	33
○身近な相談機関として地域包括支援センターや地域子育て支援センター等の利用促進を図ります。								
※	高齢者の抱える様々な問題に専門職の立場から支援するため、地域包括支援センターの機能強化に努めるとともに、「出前包括」を新設し、各地区に職員が出向き、高齢者の相談支援体制の充実を図ります。	専用の相談窓口としての開設ではなく、各地区に出前講座で出向いた際に、相談があればその場でお伺いし、継続した支援につなげていくこととしている。	かいご課	2.概ね順調に進んだが一部改善すべき点がある	困ったときの相談窓口として地域包括支援センターがあることの認知度をさらに高めていく必要がある。	(充実・ <u>継続</u> ・変更・休止・廃止) 地域に出向いた際の相談の機会の確保に努めるとともに、引き続き周知啓発に取り組んでいく。	P42	34
※	さかいで子育て支援センター「まるっ子ひろば」において子育て世帯を支援し、子育て世代包括支援センターにおいて妊娠期から子育て期まで相談に応じて切れ目のないサポートを行い、少子化対策や子育て世帯への支援を実施します。	さかいで子育て支援センター「まるっ子ひろば」において、子育て支援コーディネーターが話を聞き、子育て家庭のサポートを行う「利用者支援事業」を実施し、子育て世帯を支援している。また、地域子育て支援拠点事業を実施し、子育てに関する相談・情報の提供を行い、子どもと保護者等の交流を支援した。	こども課	2.概ね順調に進んだが一部改善すべき点がある	集客を伴うイベントを行う際は、予約制または登録制とし、人数制限を行うなど新型コロナウイルス感染症対策を徹底を図った。	(充実・ <u>継続</u> ・変更・休止・廃止) 引き続き関係機関との連携を図り、その活動を支援する。	〃	35
		妊娠届の際には保健師が面接を行い、一緒にプランを作成するとともに、妊娠期から地区担当保健師が必要に応じて支援の方向性を検討し、電話連絡・訪問等を行うことで相談しやすい関係・体制づくりを図った。また訪問・相談・健診等の機会を捉え児の発達段階や家族の思いに寄り添った切れ目のない支援の展開に努めた。	けんこう課	2.概ね順調に進んだが一部改善すべき点がある	支援プラン内容の修正・見直しを行う時期を定める等評価体制の構築が必要。また現在の産後ケア事業(宿泊型・デイサービス型)は実施場所が高松市内の2か所と、遠方で限られていることから利用し辛いという現状があり、希望者が利用しやすい事業の実施場所・形態の改善が必要である。また相談方法の選択肢を増やし相談者が気軽に相談しやすい体制づくりの構築も課題である。	(充実・ <u>継続</u> ・変更・休止・廃止) 地域の現状に応じて相談体制・事業内容の改善、支援プラン評価体制の構築を図り、今後も継続して妊娠期～子育て期における切れ目のない支援ができるよう努める。		

第三次坂出市地域福祉計画の進捗状況等調査票

※は別途指標あり【資料2】

3. 地域生活を支えるまちづくり		主な実施状況 (令和元年度・令和2年度)	主な担当課	評価	課題	今後の方向性	計画書 ページ	計画 番号
○生活困窮者の支援に努めます。								
※	様々な生活問題を抱える人を支援できるように、ふくし課と市社会福祉協議会による相談窓口を設置し、幅広く相談を受け付け、一人ひとりの状況に応じた支援につなげます。	令和元年度からは新たに家計改善支援事業(家計表を作成するなどして、家計の状況を利用者本人が認識できるようにし、本人の家計管理の意欲を引き出す支援を行う)、就労準備支援事業(就労に必要な対人関係や社会生活のために必要な支援を行う)を実施し、支援対象者の自立助長に資することができた。	ふくし課	2.概ね順調に進んだが一部改善すべき点がある	就労準備支援事業は、就労意欲や社会参加意識が低く、事業参加に至っていない。家計改善支援事業は、その指導や対応に多くの時間が必要なことや専門的な知識が必要な場合があり十分な支援ができていない。	(充実・ <u>継続</u> ・変更・休止・廃止) 生活保護に至る前の自立支援策の強化を図るため、生活困窮者に対し、自立支援を行うものであり、貧困対策として有効な事業である。	P42	36
		緊急かつ短期集中的支援が必要なケースから家計改善のような中長期的に自立に向けた支援が必要なケースまで、ふくし課と社会福祉協議会が互いに連携・情報共有しながら支援に努めた。また、コロナの影響により減収となった世帯向けの貸し付けや給付金制度においても連携体制を整えた。	市社会福祉協議会	2.概ね順調に進んだが一部改善すべき点がある	複合的な困りごとを抱える世帯は増加しており、より柔軟で多様な支援が求められる。また、コロナなどによって減収の影響を受けやすい脆弱な就労環境で働くかたの多さが露呈し、そのことを検証して今後の就労支援や住居確保の在り方につなげる必要がある。	(充実・ <u>継続</u> ・変更・休止・廃止)		
※	家庭や企業等から品質に問題のない余っている食べ物を寄附してもらい、緊急的に食べるものに困っている人に提供する「フードバンク活動」を行い、潜在化している課題の把握や、生活困窮者自立支援事業と連携することで、継続した支援につなげます。	個人から団体・企業まで、フードバンク活動が広がっており、企業のCS活動やフードロス対策と子ども食堂とのマッチングも増えている。また、従来の相談支援においても、関係機関と連携しながら困窮世帯への計画的な食品提供をしている。	市社会福祉協議会	2.概ね順調に進んだが一部改善すべき点がある	フードバンク活動を単なる困窮者支援とするのではなく、社会問題や地域課題の解決、地域づくりへ結びついているというPR強化が必要。そうすることで、協力者の増加や子ども食堂など様々な地域活動の持続性を高めていく。	(充実・ <u>継続</u> ・変更・休止・廃止)	"	37
○犯罪や非行のない明るい社会をめざすとともに、犯罪や非行をした人が、再び過ちを犯すことなく、早期に更生できるように支援します。								
	更生保護サポートセンター運営や街頭キャンペーン等の保護司活動の支援を行い、犯罪や非行のない明るい社会をめざすとともに、必要な支援を行えるよう関係機関と連携を図ります。	(ふくし課) 毎年7月1日に全国の保護司会および更生保護女性会が実施する「社会を明るくする運動」を令和元年・2年度とも行った。ただ、街頭キャンペーンは新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となった。また更生保護サポートセンターへの補助を行い、保護司活動を支援した。	ふくし課	2.概ね順調に進んだが一部改善すべき点がある		(充実・ <u>継続</u> ・変更・休止・廃止)	"	38
○社会福祉法人による地域における公益的な取組と連携して、課題を抱える人を支援します。								
	社会福祉法人施設と社会福祉協議会と民生児童委員がつながり、支援を必要とする人を地域でトータルにサポートする「香川おもいやりネットワーク事業」において関係機関との連携を強化します。	コロナ禍で「香川おもいやりネットワーク事業」参画法人による担当者会が開催できず、協働しての活動もできなかった。しかしながら、一部の施設職員によるフードドライブは継続して行うことができ、結果、個別支援における当該事業の活用と併せて食料品の提供ができた。	市社会福祉協議会	3.実施したが不十分は点が多い	当該事業がスタートしてから交代された民生児童委員も多く、再度丁寧な説明が必要。地区民児協の定例会に担当者が出向くなどして説明するとともに、いかに地域課題の把握や連携強化につなげるかが重要となる。	(充実・ <u>継続</u> ・変更・休止・廃止)	"	39

第三次坂出市地域福祉計画の進捗状況等調査票

※は別途指標あり【資料2】

3. 地域生活を支えるまちづくり	主な実施状況 (令和元年度・令和2年度)	主な担当課	評価	課題	今後の方向性	計画書 ページ	計画 番号
(2)福祉サービスの適切な利用							
○福祉サービス等を適正に提供します。							
坂出市障がい者福祉計画および坂出市障がい福祉計画に基づき、地域との関わりを通して、障がいのある人の生活を支え、自立を促すことにつながるようサービスを提供します。	相談支援専門員をはじめ、ケースの関係者が連携して課題解決に努め、そのために必要なサービスを提供している。	ふくし課	1.順調に進んだ(完了した)		(充実・ <u>継続</u> ・変更・休止・廃止) 今後とも適正なサービス提供に努める。	P44	40
坂出市高齢者福祉計画および坂出市介護保険事業計画に基づき、医療・介護・福祉が連携し、包括的な支援サービスを提供します。	かいご課と連携して包括的な支援サービスの提供につなげた。	ふくし課	1.順調に進んだ(完了した)		(充実・ <u>継続</u> ・変更・休止・廃止)	"	41
	地域包括ケアシステムの推進を図り、高齢者へ効果的な支援を行うための重層的なネットワークの構築を図るための取り組みを勧めている。	かいご課	1.順調に進んだ(完了した)	複雑化・複合的な支援ニーズに対応するための支援体制の構築が必要。	(充実・ <u>継続</u> ・変更・休止・廃止) 医療や福祉の関係機関と連携を図り、体制づくりを行う。	"	41
坂出市子ども・子育て支援事業計画に基づき、すべての子育て家庭が安心して子育てができるよう、地域において様々な子育て支援を充実するとともに、妊娠・出産・子育てと段階に応じた切れ目のない、きめ細かな支援に取り組みます。	令和2年度は、本市独自の制度として、生まれてきた子どもの健やかな成長と幸せを願い、子育て家庭の経済的負担を少しでも軽減できるよう、出産祝金の拡充、子ども医療費助成、多子世帯における保育料・副食費の軽減措置、乳児紙おむつ支給事業などに取り組んだ。また、令和元年度は本市独自で、ひとり親世帯への経済対策として児童扶養手当受給者に坂出市子育て支援臨時特別給付金(児童扶養手当2ヵ月分)を追加で支給し、経済的な支援も行った。	子ども課	2.概ね順調に進んだが一部改善すべき点がある	妊娠から出産、乳幼児期、学童期と連続した公的支援など切れ目のない支援の充実を図り、個々の状況に寄り添いながら、支援していくことが必要である。	(充実・ <u>継続</u> ・変更・休止・廃止) 引き続き子どもの健やかな成長と発達を総合的に支援していく。	"	42
	(けんこう課)坂出市子育て包括支援センターを課内に設置し、妊娠届の際には保健師が面接を行い、妊娠期から地区担当保健師が必要に応じて支援の方向性の検討、電話連絡・訪問等を行うことで相談しやすい関係・体制づくりを図った。また訪問・相談・健診等の機会を捉え、子どもの発達段階や家族の思いに寄り添いながら、切れ目のない支援に取り組んだ。	けんこう課	2.概ね順調に進んだが一部改善すべき点がある	支援プラン内容の修正・見直しを行う時期を定める等評価体制の構築が必要。また現在の産後ケア事業(宿泊型・デイサービス型)は実施場所が高松市内の2か所と、遠方で限られていることから利用し辛いという現状があり、希望者が利用しやすい事業の実施場所・形態の改善が必要である。また相談方法の選択肢を増やし相談者が気軽に相談しやすい体制づくりの構築も課題である。	(充実・ <u>継続</u> ・変更・休止・廃止) 地域の現状に応じて相談体制・事業内容の改善、支援プラン評価体制の構築を図り、今後も継続して妊娠期～子育て期における切れ目のない支援ができるよう努める。	"	42
○広報誌や市ホームページ等を活用し、情報の即時性を図るとともに、どこでどのような情報が提供されているのかといった情報の提供場所についても周知徹底を図ります。							
サービス等の提供について、広報誌、市ホームページに掲載し、周知を図るとともに、各種団体への出前講座を実施します。	サービス等の提供について、広報誌、ホームページに掲載し、周知を図るとともに、手帳取得時等に窓口で「福祉のしおり」等を使用してサービス等の情報をわかりやすく説明している。	ふくし課	1.順調に進んだ(完了した)		(充実・ <u>継続</u> ・変更・休止・廃止) 今後ともわかりやすい情報提供に努める。	"	43
	各種団体への出前講座を実施している。	かいご課	1.順調に進んだ(完了した)		(充実・ <u>継続</u> ・変更・休止・廃止) 情報提供を素早くできるように対応していく。	"	43

第三次坂出市地域福祉計画の進捗状況等調査票

※は別途指標あり【資料2】

3. 地域生活を支えるまちづくり		主な実施状況 (令和元年度・令和2年度)	主な担当課	評価	課題	今後の方向性	計画書 ページ	計画 番号
※	子育てに関する情報について、広報誌、市ホームページに掲載するだけでなく、電子母子手帳「まるっ子メモリー」や子育て情報冊子「さかいで子育て応援BOOK」にて情報提供し、充実を図ります。	子育て情報について広報誌、HP、まるっ子メモリー、さかいで子育て応援BOOKに掲載して情報提供を行った。	けんこう課	2.概ね順調に進んだが一部改善すべき点がある	まるっ子メモリーに関して、登録者のみが活用できるサービスであり、対象者全員に情報発信はできないという欠点がある。	(充実 (継続・変更・休止・廃止)) 今後も引き続き取り組みを継続する。まるっ子メモリーに関しては今後も面接時に登録を更に勧め登録者数を増やす。	P44	44
		子育てに関する情報を掲載した冊子「さかいで子育て応援BOOK」の改訂版を配布している。	こども課	2.概ね順調に進んだが一部改善すべき点がある	前回「さかいで子育て応援BOOK」の改訂してから、3年以上が経過しており、情報の刷新等の必要がある。	(充実 (継続・変更・休止・廃止)) 新たな子育て情報冊子の改定版の発行を検討する必要がある。		
(3) 権利擁護の推進								
○苦情解決制度や日常生活自立支援事業については、関係機関と連携を図りながら市民への一層の周知を図るとともに、有効な活用がなされるよう相談体制の充実など環境づくりを推進します。								
	県社会福祉協議会、市社会福祉協議会など関係機関と連携し、制度の周知や情報発信を行い、相談体制の充実を図ります。	関係機関と連携し、制度の周知や情報発信を行い、相談体制の充実を図ることにより、必要な制度の利用につなげている。	ふくし課	1.順調に進んだ(完了した)		(充実 (継続・変更・休止・廃止))	P46	45
○成年後見制度の周知・普及を図ります。								
※	今後、増加が見込まれる認知症高齢者や、意思決定の困難な障がい者が、財産管理や福祉サービスの利用等で困ることがないように成年後見制度の利用を促進します。また、市社会福祉協議会との連携を強化するとともに、時代やニーズに合わせた対応ができるよう、関係機関との情報交換や連携を図り、活動の充実と市民後見人等への継続したフォローアップを行います。	(かいご課) 令和2年度より、成年後見制度利用促進体制整備事業に取り組み、成年後見センターを中核機関とした地域連携ネットワークの整備に取り組んだ。	かいご課	2.概ね順調に進んだが一部改善すべき点がある	成年後見制度そのものの理解度をさらに深める必要がある。	(充実 (継続・変更・休止・廃止)) 今後地域連携ネットワークを通じて、制度の周知啓発に取り組んでいくとともに、制度利用が必要なかたの情報共有に努める。	"	46
		成年後見センターの活動を周知・啓発し、必要な人に案内をした。	ふくし課	2.概ね順調に進んだが一部改善すべき点がある	障がい者を取り巻く医療機関や金融機関等への周知・普及が課題と言える。	(充実)・継続・変更・休止・廃止) 意思決定の困難な障がい者が増加することを踏まえ、成年後見制度の利用促進のため、市社会福祉協議会との連携を強化していく。		
		国の成年後見制度利用促進計画を受け、令和2年度に権利擁護支援のための地域連携ネットワークの構築や坂出市成年後見制度利用促進協議会の設置により、体制整備を行った。既存の坂出市成年後見センターが中核機関の役割を担ったセンターとして機能していく。	市社会福祉協議会	2.概ね順調に進んだが一部改善すべき点がある	サービスや仕組みで解決できる場合もあり、後見制度の中身の周知がまだ十分ではないと感じる。ケースの状況は様々であるので、相談につながりやすくなるよう、周知啓発に引き続き取り組む必要がある。	(充実)・継続・変更・休止・廃止) 坂出市成年後見センターが中核機関としての機能をさらに充実させ、地域における様々な支援・活動のネットワークを十分に活かし、権利擁護支援の取組みをさらに進めていく。		

第三次坂出市地域福祉計画の進捗状況等調査票

※は別途指標あり【資料2】

3. 地域生活を支えるまちづくり	主な実施状況 (令和元年度・令和2年度)	主な担当課	評価	課題	今後の方向性	計画書 ページ	計画 番号
○坂出市要保護児童対策地域協議会のネットワークを活用し、児童虐待等の早期発見に努めます。							
ネットワークに所属する各関係機関の役割を確認していく中で、児童に対する身体的虐待、性的虐待、ネグレクト、心理的虐待や表面化していない虐待の早期発見に努めていくとともに、児童虐待防止を目的としたオレンジリボンキャンペーンの実施等により児童虐待防止への意識啓発を図ります。	ネットワークに所属する各関係機関の役割を確認していく中で、児童に対する身体的虐待、性的虐待、ネグレクト、心理的虐待や表面化していない虐待の早期発見に努めていくとともに、児童虐待防止を目的としたオレンジリボンキャンペーンの実施等により児童虐待防止への意識啓発を図っている。	こども課	2.概ね順調に進んだが一部改善すべき点がある	新型コロナウイルス感染症予防の観点から、柔軟に啓発の方法等も変更していく必要がある。	(充実(継続)・変更・休止・廃止) 今後も法令等に注視しつつ、児童虐待防止に努めていく。	P46	47
○住宅確保要配慮者の支援に努めます。							
高齢者等の入居を拒まない民間賃貸住宅について、市ホームページで情報提供を行うとともに、香川県居住支援協議会の研修会に参加し、構成団体相互の情報共有等を行い、住宅確保要配慮者の支援に努めます。	相談に応じた情報提供による支援を実施。	建設課	2.概ね順調に進んだが一部改善すべき点がある		(充実(継続)・変更・休止・廃止) 引き続き、関係部署等への情報提供・情報共有により支援に努める。	〃	48
※ 離職等により経済的に困窮し住居を失った人、またはそのおそれがある人に対し、住居確保給付金を支給することにより、安定した住居の確保と就労自立を図るよう支援します。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大等の状況を踏まえ、令和2年度は支給対象が拡大・支給要件が緩和され、利用者が増加した。一時的に困窮となっていた世帯はこの事業により生活保護に至ることなく、一定の効果があつた。	ふくし課	1.順調に進んだ(完了した)	支給期間が終わると状況報告がなくなり、支援が途切れてしまうことが課題となっている。	(充実(継続)・変更・休止・廃止) 生活保護に至っていない生活困窮者を困窮状態から早期に脱却させ、生活困窮者の自立を支援するため、必要かつ有効な事業である。	〃	49
(4)安全・安心なまちづくり							
○自治会、自主防災組織、消防団、婦人会、子ども会、市社会福祉協議会、地区社会福祉協議会、民生児童委員等と連携を図り、災害時や緊急時に支援が必要な高齢者や障がいのある人、子ども等に対して、身近な地域での確かつ迅速な支援が行える仕組みづくりを支援します。							
※ 防災講演や研修等で災害時要支援者避難支援の必要性・重要性について理解を深め、避難行動要支援者避難支援台帳の登録者の増加に努めます。	防災講演や研修等で災害時要支援者避難支援の必要性・重要性について理解を深め、個別計画作成の増加に努めた。また、令和2年度に避難行動要支援者管理システムを導入し、避難行動要支援者名簿作成の効率化と管理・活用面の充実を図った。	危機監理室	3.実施したが不十分な点が多い	要支援者の増加、支援者の高齢化、つながりの希薄化により支援者をつくるのが難しい地域がある。	(充実(継続)・変更・休止・廃止) 引き続き防災講演や研修等で理解を深めるとともに、管理システムを活用し、名簿の提供についての同意をとり、地域や関係機関に情報提供するなど、計画作成が進まない原因を探り、見直しを図ることにより、個別計画の作成を推進していく。	P48	50
災害時や緊急時における地区社会福祉協議会や民生児童委員の活動を支援します。	(ふくし課) 災害時要支援者支援の必要性・重要性について理解を深め、協力を要請している。	ふくし課	3.実施したが不十分な点が多い		(充実(継続)・変更・休止・廃止) (ふくし課) 現在、危機監理室が導入した要支援者システムに民生委員の担当区域を入力していき、要支援者と民生委員との紐づけを行っている。	P49	51

第三次坂出市地域福祉計画の進捗状況等調査票

※は別途指標あり【資料2】

3. 地域生活を支えるまちづくり	主な実施状況 (令和元年度・令和2年度)	主な担当課	評価	課題	今後の方向性	計画書 ページ	計画 番号
○近隣住民同士の交流を深め、住民同士の相互援助機能を高めるため、地域活動や地域交流の促進を支援します。							
※ 地域によって活動に差がみられることから、防災を身近に感じ 訓練等につなげていけるよう、防災講演や研修等の充実を図り ます。	自主防災会や地域、仲間づくりの会など様々な 団体へ指導や講演を実施し、情報の周知や防 災意識の向上に努めた。なお、令和2年度につ いては、コロナウイルス感染拡大のため、実施 は大幅に減少した。	危機監理室	2.概ね 順調に 進んだ が一部 改善す べき点 がある	研修等に参加しない層への啓発方法に 課題が残る。	(充実 <u>継続</u> ・ 変更 ・ 休止 ・ 廃止) 自助・共助の力を向上させるために、今後も防 災講演や研修を通じて、防災力の向上を図る とともに、実情に合わせた対応を進めていくこ とができるよう働きかけていく。	P49	52
地区社会福祉協議会等、関係団体の行う地域福祉活動におけ る住民同士の交流を支援します。	(ふくし課) 地区社協に対し住民同士の交流の場づくりを主 体的に実施できるよう支援した。ただし、新型コ ロナウイルス感染拡大の影響で実施が減少し た。	ふくし課	3.実施 したが 不十分 な点 が多い	新型コロナウイルスの感染症の流行状 況によっては行事や研修会が減少が危 惧される。	(充実 <u>継続</u> ・ 変更 ・ 休止 ・ 廃止)	〃	53